

424 司法官招待会

〔『法学新報』第26卷5(297)号 大正5年5月3日〕

○司法官招待会 中央大学に於ては去月二十二日を以て今回司法官会議の爲め出京せられたる学員諸氏の招待会を帝国ホテルに開催したり当日の来賓は伊藤久次郎(浦和) 杉阪実(前橋) 森彦逸(長野) 嘉山幹一(京都) 大橋樹太郎(和歌山) 三森栄

次郎（秋田）藤岡大英（浦和）吉益俊次（水戸）大田黒英記
（大阪）安達駿三郎（滋賀）高木国尚（岐阜）執行軌正（広島）
芥川兵吉（山口）川田久信（秋田）金子富次郎（青森）氏野徳
太郎（海州）平石氏人（関東都督府）山口貞昌（朝鮮司法部）
の諸氏主人側にては奥田学長、伊藤理事、土方寧、江木衷、馬
場愿治、花井卓蔵、石山弥平、卜部喜太郎、佐藤正之の諸氏に
して午後六時半食堂を開き其デザート^{デザート}コースに入るや奥田学長の
挨拶あり之に対し来賓を代表して平石関東都督府法院長謝辞を
述へられ夫れより雑談を縦にし各地の土産譚あり殊に土方、江
木、花井博士などの珍談奇話に笑声堂に満ちて漸く時の移るを
知らず其一同散会したるは十時過くる頃なりし